

サンタ姿のスタッフに連なって雪の感触を楽しむスキーヤー＝3日午前、神戸市灘区六甲山町(撮影・風斗雅博)

NEXTに
動画



お待たせ 初滑り 六甲山、ハチ高原

神戸市灘区の人工スキー場「六甲山スノーパーク」が3日、今季の営業を始めた。新型製氷機の導入で、造雪量は1日最大240トンと従来の2・4倍に。初日から2カ所のゲレンデが使えるようになり、待ちわびたスキーヤーらが真新しい雪の感触を確かめた。

同スキー場がある六甲山頂は晴天に恵まれ、午前8時の気温は4度と平年より高め。営業開始に合わせ、雪だるまのマスコットキャラクター2体とサンタクロース姿のスタッフ10人がゲレンデを滑走し、利用客が続いた。

校2年足立翔太君(8)は「気持ちよかった」と満足そう。スキー歴20年という父の孝幸さん(44)は「初滑りはいいところ。親子で楽しめる」と話した。

営業は来年4月2日まで。同パーク☎078・891・0366

◇(金 慶順)

3日はハチ高原スキー場(養父市)も、人工雪ゲレンデの営業を開始。好天の下、兵庫県内外のスキーヤー、スノーボーダーでにぎわい、ターンやジャンプを交えつつ滑走を楽しんだ。ハチ事務所☎079・667・8036

(那谷享平)